

インドネシアからシンガポールへの 入国又は乗り継ぎについて

2022年3月31日23:59(シンガポール現地時間)より、シンガポールの水際対策に関する以下の変更が実施されます。

- SIA及びスクートフライトで全量の予防接種を受けた旅行者は、到着時のテストなしでシンガポールへの検疫なしの入国が可能です。
全ての旅行者は、出発前のテストを受け、一般的なビザの要件を満たす必要があります。^[1] 短期の訪問者はシンガポールに旅行する前にCovid-19関連の治療及び入院費用として最低30,000ドルの旅行保険を購入する必要があります。
- 全量のワクチン接種済みの旅行者はシンガポールに入国するために入国承認を必要としません。これは、旅行者がシンガポールに入国するためにワクチン接種済みトラベルパス(VTP)又はエアトラベルパス(ATP)を申請する必要がなくなったことを意味します。
- 12歳以下の旅行者はワクチン接種が免除され、ワクチン接種を受けた大人の同伴なしでシンガポールに検疫なしで入国できます。全量のワクチン接種済みの旅行者は、到着後にチャンギ空港を出発するために公共交通機関を利用することもできます。
- SIA及びスクートは、2022年4月1日以降特定のワクチントラベルレーン(VTL)フライトを指定しません。現在既に2022年4月1日以降にVTLフライトを予約しているお客様は予定通りに旅行できます。予約を変更する必要はありません。
- 全量のワクチン接種済みでない旅行者は、一般的な検疫(この通知のリリース日から7日間の外出禁止令)及びテスト要件の対象となります。

シンガポールを通過する全ての乗客に対するシンガポールの出発前テスト要件は削除されますが、乗客は引き続き目的国の出発前テスト要件の対象となる可能性があることに注意してください。



乗客はシンガポール経由で移動するときに、最終目的地の旅行要件を引き続き満たす必要があります。

要約すると、以下の措置は、インドネシアからシンガポールに入る旅行者に引き続き適用されます。

- 全ての旅行者は、シンガポールへの出発日の48時間以内に行われた、Covid-19ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)検査又は専門的に実施された抗原迅速検査(ART)の有効な陰性結果を提示する必要があります。
- 短期の訪問者は、シンガポールに旅行する前に、Covid-19関連の治療及び入院費用として最低30,000ドルの旅行保険を購入する必要があります。

PCR又はART検査結果は英語で、以下の点が明記されている必要があります。

- a) PCR又はART(訓練を受けた専門家によって実施)の陰性結果
- b) 検査が行われた日付
- c) 検査機関の名前
- d) パスポートに記載されている: 名前、パスポート番号、生年月日、国籍、国民識別番号

全量のワクチン接種済みで最近回復した旅行者は、必要な予防接種証明書に加えて次の書類(英語又は英語訳付き)を提示できる場合、シンガポールに入国するための一般的な水際健康対策を免除される場合があります。

- a) シンガポールへの出発日の7~90日前に、Covid-19PCR検査又は専門家が実施したARTの結果が陽性。または、



- b) 関連する州当局又は認可された医療専門家によって発行された退院メモ：
- i. あなたの名前と、シンガポールへの入国に使用されるパスポートに記載されている生年月日やパスポート番号など、少なくとも1つの他の個人識別情報を記載します。
 - ii. 感染日を記載します。これはシンガポールへの出発日の7～90日以内でなければなりません。

さらに、シンガポールへの出発前に全量のワクチン接種をしていない最近回復した旅行者、及びCovid-19に感染していると診断又は疑われる旅行者は、特定の状況下でシンガポールへの出発を許可される場合があります。詳細については、シンガポール保健省のウェブサイトをご覧ください。[こちら](#)

チェックインをよりスムーズにするため、クリニックがQRコード付きの証明書を発行できるかどうか確認することを強くお勧めします。このQRコードはデジタル証明書にリンクしていなければなりません。

新しいワクチン接種済み旅行のフレームワークの詳細については、シンガポール民間航空庁の[プレスリリース](#)を参照してください。SIAグループが運航する最新のフライトスケジュールについては、シンガポール航空又はスクートのウェブサイト参照してください。

この情報は2022年3月25日現在のものです。シンガポールへの旅行又はシンガポールを通過するための旅行要件及び最終目的地の最新情報については、関連する政府のウェブサイト常参照してください。

